

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	パプアニューギニア独立国
2. 案件名	山岳地域の母子保健サービス改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	パプアニューギニア独立国（以下、PNG）では、持続的な開発目標（SDGs）に掲げられたジェンダー平等及び保健の課題において、女性の地位向上や、保健衛生状況の改善を目指した施策が取られているが、母子保健関連の開発目標は達成には至っていない。対象地域であるエンガ州は山岳地帯に位置する最も標高の高い州のひとつであり、中でもライガム郡は高低差により厳しい地理的条件下にあることから医療アクセスにも困難を抱えている。更にエンガ州の人々は、PNG内でも特に同族意識が強く、部族・氏族間の対立が起きやすい。闘争が始まると、医療や教育の様な公的サービスが停止し、医療施設や教育機関が焼き払われてしてしまう事も少なくない。対象国において大きな課題になっている保健分野に軸を置き、部族闘争に影響を受けにくい母子保健サービスの確立を目指す本事業は、対象地域の母子の命を守ることに繋がるものであり、PNG政府が掲げる農村部の基礎的保健医療サービスの改善に資するものである。
4. プロジェクト目標	活動対象地域において母子保健サービスのモデル体制が確立し、州全土への展開基盤が整う
5. 対象地域	エンガ州ライガム郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	1) 直接受益者 ・ライガム郡保健医療施設職員 約 30 名 ・コミュニティ保健委員と村落保健ボランティア約 1,350 名 2) 間接受益者 ・健康啓発や母子保健サービスの対象となる地域住民約 96,000 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 保健医療施設において部族闘争に影響を受けにくい母子保健サービスが確立され、機能する 2. コミュニティ住民の母子保健に関する知識と意識が向上し、女性の意思決定の機会が増加する 3. 州保健局のマネジメント力が強化され、州全体への活動内容の展開準備が整う <活動> 1-1：保健医療施設における母子保健サービスおよび設備に関する評価を実施する 1-2：各分娩受け入れ施設に「お産を待つ家」を建設、利用ルールに部族間問題を持ち込まない事を明記、部族闘争時の保健医療施設の安全を確保する 1-3：保健局が分娩施設の適切な水や電源の確保に取り組む 1-4：保健局が母子手帳の様な記録システムを開発、導入する 1-5：分娩施設の振り分け/推奨システムを構築する

	<p>1-6：モニタリングシステムを構築する</p> <p>2-1：先行事業で築き上げた活動基盤の確認と強化を図る</p> <p>2-2：事業開始時の人々の母子保健に関する知識と意識をはかるためのベースライン調査を実施する</p> <p>2-3：既存 VHA に対し追加研修を実施する</p> <p>2-4：VHA が管轄の家庭に対して健康啓発活動を実施、パートナーの産前健診や母親学級への同伴を促す</p> <p>2-5：VHA が母親学級を実施、分娩施設の選定について説明する</p> <p>2-6：VHA の意欲や活動を維持するための仕組みを構築する（VHA としての迅速な登録、評価制度）</p> <p>2-7：中間・エンドライン調査を実施する</p> <p>3-1：州保健局職員に対して VHA 育成講師となるための研修を実施する</p> <p>3-2：研修を受けた保健局職員が VHA 追加研修を実施する</p> <p>3-3：郡保健局による VHA が行う母親学級のモニタリング制度を構築する</p> <p>3-4：郡保健局が州保健局に情報共有する仕組みを構築する（郡/州保健局内の担当部署を明確化）</p> <p>3-5：事業内容をパッケージ化する</p> <p>3-6：州保健局と共に州全体への活動展開を開始する基盤を整える</p> <p>3-7：州保健局と共に事業の経験を他郡に広めるための成果共有セミナーを実施する</p>
8. 実施期間	（西暦）2025 年 11 月～ 2028 年 10 月（3 年 0 ヶ月）
9. 事業費概算額	99,865 千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	相手国側実施機関（カウンターパート）：エンガ州保健局 相手国側関係省庁：保健省
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	認定特定非営利活動法人 HANDS（Health and Development Service）
2. 主な活動内容	保健医療の人づくりと仕組みづくりを目指し、各国の保健医療改善のためのシステム開発と実践、人材育成、アドボカシーを実施。